

— 第6回仙台国際音楽コンクール関連事業SIMC@交流シリーズ —

ピアニスト・野島稔が語る 「音楽と音楽家」

ナビゲーター 吉川和夫 (作曲家/宮城教育大学教授)



世界の第一線で活躍し、第1回仙台国際音楽コンクールから審査委員長を務め、近年は東京音楽大学の学長に就任するなど、後進の育成にも尽力しているピアニスト・野島稔氏を迎え、モスクワ音楽院への留学、名演奏家たちとの交流、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールでの入賞、カーネギーホール・デビューなど、演奏家としての軌跡を紐解きながら、音楽家としての才能とは、音楽家を育てる上で大切なことは何かを探り、クラシック音楽文化の本質に迫ります。

2015年 **9/6** [日] 14:00・15:30
[13:30開場]

日立システムズホール仙台 交流ホール
(仙台市青年文化センター)

宮城県仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5
アクセス/仙台市営地下鉄旭ヶ丘駅下車 東1番出口より徒歩3分
※ご来場の際は、できるだけ地下鉄やバス等の公共交通機関をご利用ください。

鑑賞方法[入場無料・事前申込制(先着順)] 2015年6月11日(木)9:00受付開始
イベント名、氏名、連絡先、人数を下記までお知らせください。
TEL.022-727-1872 FAX.022-727-1873 E-mail: koryu@simc.jp

野島 稔 NOJIMA Minoru

仙台国際音楽コンクールピアノ部門審査委員長

1945年横須賀市生まれ。ピアノを井口愛子に師事、10歳でNHK 交響楽団と共演。1963年第32回日本音楽コンクール第1位大賞。1966年、桐朋学園在学中にソビエト文化省の招きでモスクワ音楽院に留学、レフ・オポーリンに師事。1969年第3回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール第2位入賞。翌年、カーネギー・ホールでデビュー、ニューヨーク・タイムズ等で絶賛された。以来、ニューヨークと東京を本拠に、アメリカ、ヨーロッパ、アジア各地でリサイタル、オーケストラとの共演、室内楽などを行う。近年は、ヴァン・クライバーン、エリーザベト等、多くの国際コンクールで審査委員を務める。2006年には、横須賀芸術劇場で野島が審査委員長を務める「野島稔・よこすかピアノコンクール」を創設し、日本の若いピアニストのさらなる育成に尽力している。現在、東京音楽大学学長、桐朋学園大学院大学特任教授。

お問い合わせ

公益財団法人仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局
〒981-0904 宮城県仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5
TEL.022-727-1872 FAX.022-727-1873 <http://www.simc.jp>

SIMC @交流シリーズとは?

コンクール期間中「交流サロン」として賑う日立システムズホール仙台・交流ホールを舞台とし、「対話」と「交流」をコンセプトに、仙台国際音楽コンクール(SIMC)をさらに深く知っていただくためのコンサートやトークイベントを開催します。

©Christian Steiner